履修の評価・認定

学習成績の評価は、筆記試験(100 点満点とし、60 点以上合格、60 点未満不合格)によって行う。最終評価点は 5 段階表記「5 優・4 良・3 普・2 やや劣る・1 劣る）となる。実習をともなう教科科目については、実習の成績によって修了を認定される。履修に必要な条件（試験結果、出席状況等）が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価が行われ、修了となる。

卒業認定

所定の教科科目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。
学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修したことを学校長が適当を認めた者は卒業となる。